

# 屋根の塗装やソーラーパネル設置作業の際の安全確保に せつばん やねよう 折板屋根用親綱支柱

レンタル

- ハゼ締めタイプの金属製長尺折板屋根からの転落を防ぎます。
- 折板屋根への取り付けはインパクトレンチで簡単に固定できます。
- 取付は簡単。ピンを差し込んでロックをかけるだけです。



①支柱ベースを仮置きする。その時にハゼ金具をインパクトで緩めておく。



②設置個所は親綱システム用支柱の使用基準に従って計測し位置決める。



③ハゼ金具の口を広げて、ハゼ部に咬ませるようにセットする。



④ハゼ金具のナットをインパクトレンチで締め込み固定する。(ハゼ金具4ヶ所)



⑤支柱を支柱ベースの中央ソケット部に差し込む。



⑥支柱ベースソケット部と支柱の穴にトグルピンで貫通させて固定する。



⑦親綱のフックを支柱の取付ピースに掛ける。



⑧親綱を取付け、緊張器を用いて概ね水平になるように設置して完成。

【仕様】  
製品名：日綜産業 金属折板屋根墜落防護用支柱 (PAT)  
寸法：W680×L700×H940mm  
重量：11.5kg

建設機械総合レンタル・リース・販売・修理  
株式会社 鳴浜リース

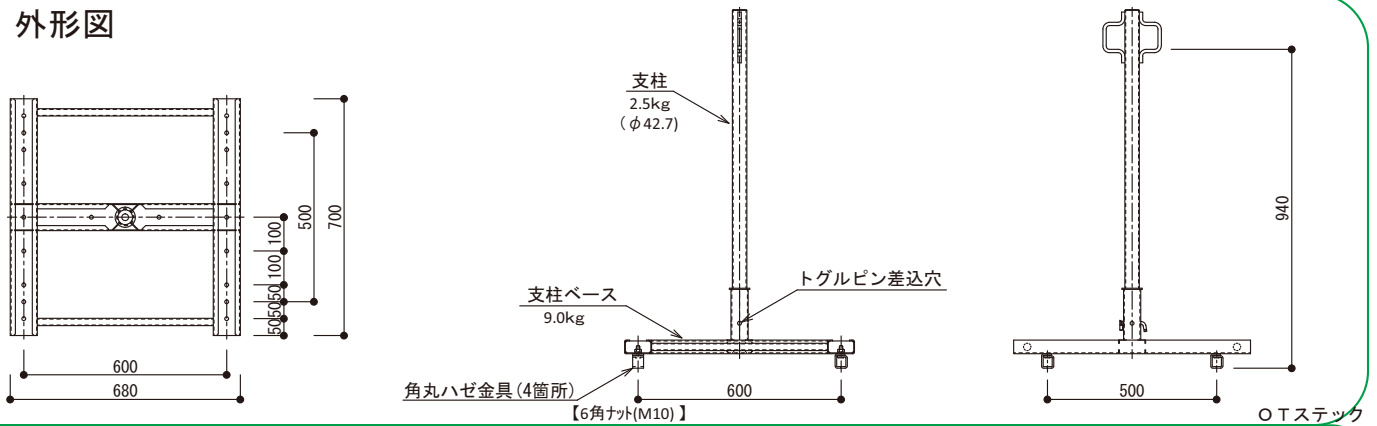
本社：【営業部・総務部】  
〒170-0013  
東京都豊島区東池袋4-39-1ナルハマビル  
TEL03-3987-5311  
FAX03-3988-1867

埼玉支店：【営業部・技術部】  
〒351-0025  
埼玉県朝霞市三原5-1-20  
TEL048-466-2111  
FAX048-464-3073

【仮設機材センター】  
〒351-0001  
埼玉県朝霞市大字上内間木369-1  
TEL048-456-3255(納品業者様専用)  
FAX048-423-3256(納品業者様専用)

 ご使用前に、別紙の使用基準を必ずご参照ください。

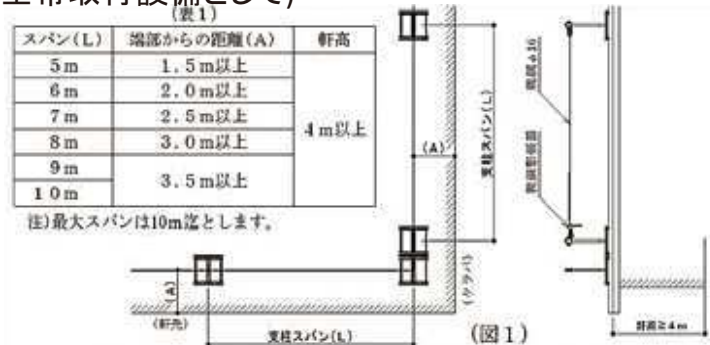
## 外形図



## ●金属屋根の条件

- 1)設置出来る金属屋根の種類は、馳(ハゼ)締めタイプの折板屋根です。  
○馳(ハゼ)ピッチ 400mm、450mm、500 550mm、600mm ○板厚 0.6mm~1.2mm
- 2)屋根材の強度については、当社責任の範囲外となります。強度確認の上、ご使用下さい。  
※参考値ーハゼ金具1か所当たり引張許容荷重 250kg
- 3)キズ、へこみ及び赤さびによる腐食等、強度の劣化が見込まれる屋根材には、設置する事は出来ません。
- 4)馳(ハゼ)締め加工が終了していない屋根材には使用出来ません。
- 5)傾斜が10%より大きい屋根での使用は出来ません。

## I . 親綱システムの使用基準 (安全帯取付設備として)



屋根材の先端部(切断箇所)が鋭利で、万が一落下した場合、親綱が切れる危険性があるため、親綱が先端部に接触できない距離(A)を設定しています。

- 1)支柱の取付スパン(L)と軒先及びケラバの各々の端部から距離 (A)を(表1)に示します。
- 2)親綱システムは1スパン1人のみ安全帯を取付けて使用出来ます。
- 3)安全帯のランヤードは、織ロープ式とし、安全性の確認されたものを用いて、長さを1.7m以内のものをご使用下さい。
- 4)親綱(ポリエステル製)の外径は16mm以上のものをご使用下さい。(仮設工業会認定品)
- 5)親綱に緊張を与えるために親綱緊張器をご使用下さい。(仮設工業会認定品)
- 6)支柱の上部フックに直接安全帯のフックを取付けることは出来ません。親綱ロープに取付けて下さい。
- 7)親綱システムとして使用の場合、安全ネットの取り付けは禁止します。

## II .防護工(第2種)用支柱の使用基準



- 1)手摺支柱の間隔(スパン)は2m以内とします。
- 2)手すり(上さん)及び中さんは単管パイプ(φ48.6)を使用して兼用クランプにて固定して下さい。
- 3)安全帯取付設備では有りません。
- 4)防護工として使用の場合(支柱間隔2m以内)は安全ネットを取付ける事が出来ますが、風速35m/s以上と予想される時は、安全ネットを取り外して下さい。

## 取り扱い上の注意事項

- 1)ハゼ金具のボルトナットは、ゆるみの無いよう固定して下さい。ナットをねじ込む際は、手で仮締め後、ボルトを垂直に立てレンチ等でゆっくりと締めこんで下さい。また、使用後は、同様に支柱ベースに固定して下さい。
- 2)ハゼ金具の六角ナットのサイズはM10ですので、レンチのソケットは17をご使用下さい。